

廃棄物処理施設等における水銀等排出状況・長期保管方策調査

25百万円（ 8百万円）

廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課

1 事業内容

国連環境計画（UNEP）では、国際的な水銀管理のための条約制定について検討が行われている。なかでも、廃棄物管理分野においては、日本のリーダーシップが求められていることから、

- (1) 廃棄物処理施設の各処理工程における水銀、鉛、カドミウム（以下、水銀等とする。）の処理物、排ガス、排水中の実態を把握する。
- (2) (1)と併せ、運転管理状況調査を行い、処理方式毎の水銀等の物質フローを整理、解析し、最適な処理方策を検討する。
- (3) 今後、制定される水銀の排出規制条約では、輸出入制限が定められる見込みであり、その際には水銀の長期保管体制が必要となる。そのため水銀含有廃棄物及び廃棄物からの回収水銀の長期保管の方法、技術的課題、制度的対応等について、新たに検討する。

2 . 事業計画

平成21年度

- ・ 廃棄物処理施設における水銀等の排出状況の実態把握（処理物、排ガス、放流水等）及び処理工程における物質移動量の整理、検討（処理方式、規模別に実施）

平成22年度

- ・ 水銀等の排出抑制、管理技術の整理、検討
- ・ 水銀含有廃棄物及び廃棄物からの回収水銀の長期保管方策の調査、検討

3 . 施策の効果

廃棄物処理施設における水銀等有害金属の排出状況の把握により、廃棄物処理での水銀等の物質フローを整理、検討するとともに、排出抑制技術、管理方策を明確にし、UNEPにおける廃棄物管理分野の水銀等に係る議論に資するものとする。

また、水銀の排出規制に関する条約の制定に伴い、今後の重要課題となる水銀含有廃棄物、廃棄物から回収した水銀の長期保管について、適切な保管方策を整理、検討することで、長期保管体制の検討に資するものとなる。

廃棄物処理施設等における水銀等排出状況・長期保管方策調査

UNEP水銀パートナーシッププログラム(廃棄物管理分野)への対応

UNEP 重金属プログラム

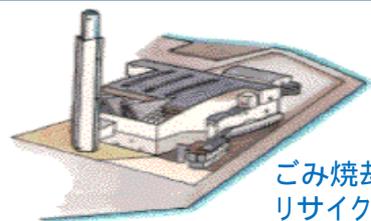
2001年	UNEP水銀プログラム	世界規模での水銀汚染に関連する活動
2005年	UNEP重金属プログラム	鉛、カドミウムが対象物質に追加
2007年	第24回UNEP管理理事会 (水銀パートナーシッププログラム)	廃棄物処理分野の検討開始
2009年	第25回UNEP管理理事会	2013年までに水銀の排出規制に関する条約の制定について合意

【対応】

水俣病経験国として水銀対策の強化は歓迎
水銀パートナーシップにおける各種検討への積極的なリーダーシップ(廃棄物管理分野)

廃棄物管理分野に関する水銀パートナーシッププログラム

廃棄物管理(廃棄物焼却、水銀の長期保管等)



ごみ焼却施設
リサイクル施設

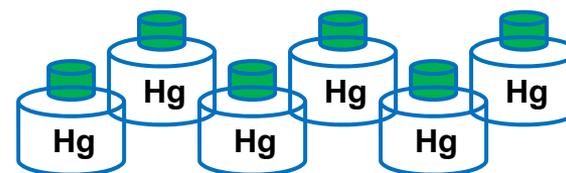


最終処分場

廃棄物処理施設における水銀等排出状況調査

水銀等の排出状況の実態把握(排ガス、放流水等)及び処理工程における物質移動量の整理、検討

排出量低減化方策、最適処理システム



水銀の長期保管方策の検討

水銀含有廃棄物、廃棄物から回収した水銀の長期保管の方法、技術的課題、制度的対応等の検討

最適な水銀の国内での長期保管体制

水銀等有害化学物質の排出量低減化方策、最適処理・管理システムの検討